

氷見市議会厚生文教委員会会議録

令和元年12月12日(休)

氷見市庁舎議事堂委員会室

開会 午前 9時59分

閉会 午前11時08分

- 1 案 件 令和元年12月定例会において厚生文教委員会に付託されたもの
- 2 出席委員 6名
正保委員長、萬谷副委員長、穴倉委員、屋敷委員、竹岸委員、積良委員
- 3 委員外議員 荻野議長、北議員、越田議員、上坊寺議員、澤田議員、谷口議員
- 4 職務のため出席した事務局職員 坂本事務局長、西島副主幹
- 5 説明のため出席した者の職、氏名
林市長、小野副市長、鎌仲教育長、京田企画政策部長、藤澤総務部長、澤市民部長、大門教育次長、天坂教育総務課長、角井スポーツ振興課長、高田福祉介護課長、浦子育て支援課長、東海市民課長、宇波健康課長、出戸病院事業管理室長、三島環境防犯課長 ほか関係職員
- 6 傍 聴 人 8人
- 7 付 託 議 案 別紙付託案件表のとおり
- 8 経過及び結果
 - ・正保委員長が開会を宣告し、市長挨拶の後、議事を進行した。
 - ・当局の説明を受け質疑応答を行った結果、いずれの案件も全会一致をもって原案を可とすることに決した。(主な質疑応答は別紙のとおり)
 - ・委員長報告は、「学校給食センター整備事業について」を特筆することとし、作成は委員長に一任された。

氷見市議会委員会条例第27条第1項の規定によりここに署名する。

令和元年12月12日

氷見市議会厚生文教委員長



◎ 病院事業管理室 ~ 11:07
・ 議案第 72 号 令和元年度氷見市病院事業会計補正予算（第 1 号）……………議案書 P. 17

◎ 環境防犯課 ~ 11:06
・ 議案第 70 号 令和元年度氷見市一般会計補正予算（第 4 号）中
 環境防犯課所管に係る事項……………説明書 P. 10

（注）一般会計における繰出金、給与費、財源補正及び節区分補正に係る説明は不要です。

主な質疑応答

教育総務課等	冒頭、鎌仲教育長が新学校給食センター整備事業に関して陳謝した。
穴倉委員	学校給食センター整備事業費について。令和2年2月中旬に入札に入ることになっているが、入札不調という前例がある。この入札は見通しがあるか。
天坂課長	今回積算を行うに当って、この金額の適正さを精査し、それによって増額もお願いしているわけである。また、工期も標準後期の12ヶ月を確保している。以上のことから、入札については大丈夫だと思っている。
穴倉委員	その大丈夫という言葉信じたい。契約後にまた足りなくて増額ということが絶対にならないように。市民の目も厳しくそこに注がれている。 新しい給食センターの供用開始後の万が一に備えて、七分一の給食センターをちょっと稼働できるような体制に残しておく。繋ぎをするみたいな想定はしてあるか。
天坂課長	試運転期間を1カ月設けているので、切り替えするのが前提。
穴倉委員	駐車場が気になるのだが、教職員の他に給食センターの職員の駐車場はどこかにつくるのか。
天坂課長	駐車スペースは設ける。
積良委員	6月補正の時は同規模の施設の実績を参考にして概算で出したということだが、いくつかの建物を参考にしたのか。
天坂課長	概算経費は、直近の29年度に設計して30年度に建設を終えたものを参考とした。これまでも平成28年度から具体的にどうするか検討している過程で、さまざまな施設を視察したり、同規模の施設も参考にしているが、そうした施設と比べても、直近で参考にした施設は平均レベルであったので、できるだけ直近のものを最終的には参考にした。相当数の施設を参考にしている。
積良委員	その概算で出されたものと実施設計で上がってきたものとの乖離がかなり大きい。この4億以上の高額な増額になってしまった原因は。
天坂課長	最大の原因は、6月時点で、工期に余裕を持ちたいという私の判断があって、早計に見積もったものを出してしまったところである。
積良委員	スケジュール等々考えたというが、不確実な概算ではなくて、しっかり

	<p>とした実施設計を待つてされたら一番よかったのではないか。</p>
天坂課長	<p>ご指摘のとおり。今回の件はあまりにも大きな施設であり、慎重さがより一層求められていたということで、ただただ反省している。</p>
萬谷委員	<p>金銭面と手続き上の工期が遅れたという2つの問題がある。 まず金銭面だが、資材が1.3倍上がった。人事費も上がった。では、中で調理するそのシステムというかキッチンというか、その辺の上昇額はいくらぐらいか。</p>
天坂課長	<p>説明資料にある備品購入費については、もともと想定をしていた金額を挙げているので、これに変動はない。</p>
萬谷委員	<p>前の資料では見学のコースも考えいるということだった。そうであれば衛生面とかエアコンとかは当然想定内であるべきだと思うが。</p>
天坂課長	<p>空調面については、作業のしやすさ等を考慮して、調理機器が設置してある上のほうに排出のためのフードを設けるとか、台数を増やすとかして、調理箇所をある程度下げるといった強化をする。</p>
萬谷委員	<p>6月議会と9月議会の間には西の杜学園の入札不調があった。その間に組織としてパニック状態であったのではないか。</p>
鎌仲教育長	<p>時勢価格の関係で3割から4割近い増額が西の杜学園であり、入札前の給食センターでも同じような増額が十分考えられるので見直したわけである。最初の概算に近い形で工事ができないかがんばってみたが、議会で増額を承諾していただくしかない。その見直しに時間を使わせていただいた。決して教育委員会でパニックが起きていたというわけではない。納得のいく説明ができる数値を探し求めていたからだ。</p>
萬谷委員	<p>この後入札して、契約して、実際に建てるまでのコスト意識を持っていただきたい。本会議でもこの後のお金の上昇はないと言われたが、この後どのように臨まれるのか。</p>
鎌仲教育長	<p>事務局のほうで十分に念査をして、この金額で大丈夫であろうということと議会で補正予算を提案させていただいた。それを強く信じている。</p>
正保委員長	<p>最後に私から一言。 今回の増額補正は想定をはるかに上回る金額で正直驚きを隠せなかったのは事実である。その理由としては、実勢価格の高騰や、衛生管理向上などによるものとの分析であるが、本当の原因は適正価格の把握のズレに</p>

<p>積良委員</p> <p>天坂課長</p> <p>竹岸委員</p> <p>天坂課長</p> <p>竹岸委員</p>	<p>気づかないまま見切り発車したことにあることは明らかである。</p> <p>しかしながら、建築後40年が経過し、老朽化が顕著であることや、何より子どもたちに安全な給食を提供するため、今後のスケジュールを総合的に勘案すれば、これ以上先延ばしすることは許されない状況にあることは理解できるものの、しかし、なぜこうした事態が起きたかという問題の本質そのものは見過ごすことができない。</p> <p>今後、同事案が発生しないよう再発防止に努めていくことが重要である。決して応急処置的に片づけることのないように今一度原点に戻り、そもそものあり方を含めた抜本的な対策を講じられるよう本委員会として強く求める。</p> <p>「安部」人づくり基金積立金について。債券の運用で出た売却益でこれだけお金が市に入ったということだが、基金自身、今現在は何かに投資しているのか。</p> <p>新たな地方債、大阪府の公募公債に振替をさせていただいている。</p> <p>市民会館解体事業について。アスベストの調査は終わっていて、ないという判断か。</p> <p>飛散性のアスベストはなく、囲いはしない。含有は想定している。</p> <p>安全に気をつけて解体を。</p>
<p>スポーツ振興課 萬谷委員</p> <p>角井課長</p>	<p>ふれあいスポーツセンター管理運営事業費について。入口のモニターのみ変わるのか。システムは変わらないのか。</p> <p>モニターに関しては、その月の主な行事とその日の行事の表示だけであり、当日の分は毎日更新される。</p>
<p>環境防犯課 積良委員</p> <p>三島課長</p> <p>穴倉委員</p> <p>三島課長</p>	<p>高齢者運転免許自主返納支援事業費について。返納者の人数は今年に入ってからどれだけか。</p> <p>11月末現在で164人である。これは前年同月に比べて20人増加している。</p> <p>支援の公共交通機関利用券の利用率は高いのか。</p> <p>タクシー券については、3年間有効の2万円の回数券を渡しているが、だいたい60%ほどの利用がある。</p>